

徳島県の地域枠医師の動向とへき地病院における地域枠受入れの現状について

つるぎ町 病院事業管理者
(つるぎ町立半田病院 病院長兼任)
須藤 泰史(すとう やすし)

本日の内容

- 徳島県の医療状況について
- 徳島県地域枠制度について
- 当院における地域枠医師受入れの現状
- 今後について

徳島県のご紹介



つるぎ町って？

徳島県 TOKUSHIMA

2018/10/1 人口 9206人
高齢化率 42.5%
徳島県 33.1% 全国 28.1%

つるぎ町立半田病院



・ 病床 120床 (一般112床、地域包括ケア8床)

・ 診療科目

H22内視鏡センター

内科(消化器内科) 外科・産婦人科・小児科・泌尿器科・放射線科・リハビリテーション科

総合診療科(H26年4月～) (以上、常勤 16名+非常勤 1名)

週2回大学から

整形外科 眼科・耳鼻科・循環器内科 ~~麻酔科~~ (以上、非常勤 徳島大学からのパート医師)

・ 学会等の認定

- 臨床研修病院指定(協力型)
- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化器病学会専門医制度関連施設
- 日本がん治療認定機構 施設修研認定
- 日本泌尿器科専門医教育施設
- 透析学会教育関連施設
- 日本周産期・新生児医学会認定(周産期専門医)
- 日本産科婦人科学会 専攻医指導施設
- 自治医科大学地域研修医療機関

- 日本外科学会専門医制度関連施設
- 薬剤師実務研修生受入施設
- 地域包括医療・ケア認定
- 災害拠点病院指定
- 徳島DMAT指定病院
- へき地医療拠点病院指定
- 財団法人日本医療機能評価機構認定
- 日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療後期研修プログラム(Ver2) 認定施設
- 自治体立優良病院表彰(2015)

徳島県 2次医療圏 日本医師会 JMAPより



西部医療圏 面積	1,405.88km ²
国勢調査人口 (2015年)	80,902人
高齢化率	37.70%
人口密度	57.50人/km ²

東部医療圏 面積	1,016.64km ²
国勢調査人口 (2015年)	527,175人
高齢化率	29.00%
人口密度	518.50人/km ²

南部医療圏 面積	1,724.13km ²
国勢調査人口 (2015年)	147,656人
高齢化率	34.20%
人口密度	85.60人/km ²

3次医療圏の医師偏在状況(暫定)

順位	都道府県	指標	順位	都道府県	指標
-	全国	238.3	24位	愛媛県	231.0
1位	東京都	329.0	25位	福井県	230.9
2位	京都府	314.9	26位	鹿児島県	229.8
3位	福岡県	300.5	27位	愛知県	225.3
4位	沖縄県	279.3	28位	北海道	222.0
5位	岡山県	278.8	29位	栃木県	216.7
6位	大阪府	274.4	30位	山梨県	216.4
7位	石川県	270.4	31位	富山県	216.2
8位	徳島県	265.9	32位	宮崎県	210.6
9位	長崎県	259.4	33位	山口県	210.3
10位	和歌山県	257.2	34位	三重県	208.8
11位	鳥取県	255.0	35位	群馬県	208.2
12位	高知県	254.3	36位	岐阜県	204.7
13位	佐賀県	251.3	37位	千葉県	200.5
14位	熊本県	248.5	38位	長野県	199.6
15位	香川県	247.8	39位	静岡県	191.1
16位	滋賀県	243.5	40位	山形県	189.4
17位	兵庫県	243.0	41位	秋田県	180.6
18位	奈良県	241.1	42位	茨城県	179.3
19位	広島県	240.4	43位	埼玉県	178.7
20位	大分県	238.0	44位	福島県	177.4
21位	島根県	235.9	45位	青森県	172.1
22位	宮城県	232.7	46位	新潟県	169.8

平成31年3月1日 国保新聞

3次医療圏(都道府県)・2次医療圏の「偏在指標」(暫定版) 厚生労働省 2019・2・19医師需給分科会

医師偏在指標が下位の2次医療圏(暫定)			
順位	2次医療圏	指標	280位
全国平均 238.266			
335位	秋田県	69.6	278位
334位	北海道	79.0	277位
333位	北海道	80.4	276位
332位	山梨県	81.5	275位
331位	鹿児島県	81.7	274位
330位	岩手県	86.8	273位
329位	茨城県	86.9	272位
328位	茨城県	87.7	271位
327位	愛知県	87.9	270位
326位	静岡県	89.6	269位
325位	鹿児島県	90.6	268位

医師偏在指標が上位の2次医療圏(暫定)			
順位	都道府県	指標	280位
280位	新潟県	125.7	279位
279位	岩手県	125.8	278位
278位	山口県	126.2	277位
277位	大分県	126.4	276位
276位	佐賀県	126.6	275位
275位	岩手県	126.9	274位
274位	山口県	126.9	273位
273位	宮崎県	127.2	272位
272位	熊本県	127.7	271位
271位	東京都	127.7	270位
270位	長野県	127.7	269位
269位	長野県	129.1	268位
268位	北海道	129.5	267位

産科の医師偏在指標(暫定)			
順位	都道府県	指標	136.3
306位	山形県	106.0	249位
305位	新潟県	106.8	248位
304位	青森県	106.8	247位
303位	群馬県	107.1	246位
302位	新潟県	107.3	245位
301位	栃木県	109.8	244位
300位	長野県	111.2	243位
299位	北海道	111.7	242位
298位	福井県	112.9	241位
297位	三重県	112.9	240位
296位	岩手県	113.2	239位
295位	岩手県	114.4	238位
294位	埼玉県	114.5	237位
293位	新潟県	114.6	236位

小児科の医師偏在指標(暫定)

順位	都道府県	指標
全国		104.9
1位	鳥取県	173.8
2位	東京都	142.4
3位	京都府	140.6
4位	富山県	127.3
5位	高知県	126.9
6位	山梨県	125.4
7位	徳島県	123.0
8位	福井県	122.1
9位	香川県	120.6
10位	岡山県	120.5

産科の医師偏在指標(暫定)

順位	都道府県	指標
全国		12.0
1位	東京都	18.4
2位	秋田県	15.8
3位	和歌山県	14.3
4位	大阪府	14.1
5位	徳島県	13.7
6位	神奈川県	13.7
7位	山梨県	13.3
8位	奈良県	13.0
9位	兵庫県	12.9
10位	三重県	12.7

平成31年3月10日 国保新聞

小児科医
: 開業医2名・勤務医2.5名

徳島県立中央病院 診療は1日以降、夜間 所が対応せず。

(徳島市)の小児科の救急医療体制が、11月 前9時の受け入れが、火、木曜のほか、金、土、日曜を隔週で赤十字病院と交代で対応する。月、水曜の夜間は赤十字が受け入れる。徳島赤十字病院(小松島市)と交代で対応する。県内で24時間体制で行う。月曜から土曜の午後7時半、同10時、日曜・祝日の午前9時、午後10時半は徳島市夜間休日急病診療所が対応する。

県中央病院小児救急縮小

来月から 県内24時間体制ゼロ

徳島県立中央病院の小児科は、11月1日から縮小される。火、木曜のほか、金、土、日曜を隔週で赤十字病院と交代で対応する。月、水曜の夜間は赤十字が受け入れる。徳島赤十字病院(小松島市)と交代で対応する。県内で24時間体制で行う。月曜から土曜の午後7時半、同10時、日曜・祝日の午前9時、午後10時半は徳島市夜間休日急病診療所が対応する。

小児科の救急医療体制は「元」に近せる時期は未定。医師の確保が確保に入らなければ、体制を戻すの時期も見られ、赤十字病院が24時間体制でなくして、(古くは)「インフル学級」を開設する。徳島赤十字病院は、2019年10月22日、徳島新聞

©ONE COMPATH

小児科の医師
偏在指標（暫定）

順位	都道府県	指標
全国		104.9
1位	鳥取県	173.8
2位	東京都	142.4
3位	京都府	140.6
4位	富山県	127.3
5位	高知県	126.9
6位	山梨県	125.4
7位	徳島県	123.0
8位	福井県	122.1
9位	香川県	120.6
10位	岡山県	120.5

産科の医師
偏在指標（暫定）

順位	都道府県	指標
全国		12.0
1位	東京都	18.4
2位	秋田県	15.8
3位	和歌山県	14.3
4位	大阪府	14.1
5位	徳島県	13.7
6位	神奈川県	13.7
7位	山梨県	13.3
8位	奈良県	13.0
9位	兵庫県	12.9
10位	三重県	12.7

平成31年3月10日 国保新聞



地域特別枠医師の基本ローテーション

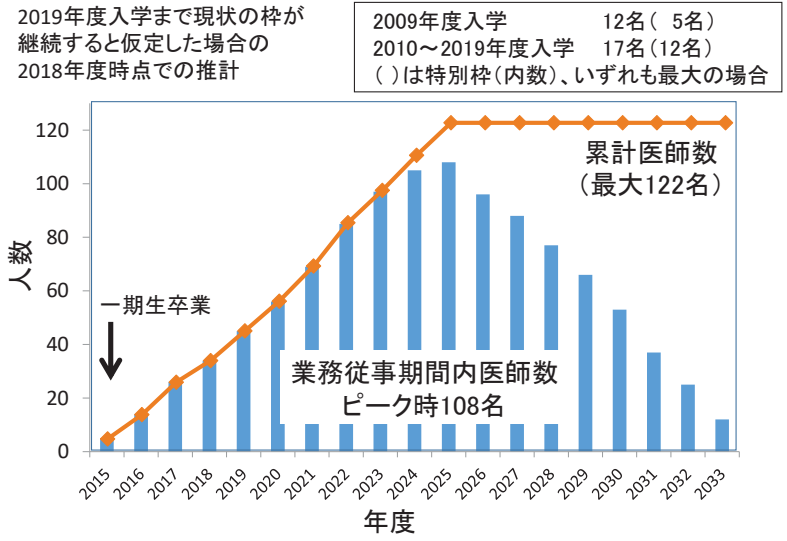
●6年間修学資金の貸与を受けた場合 → 9年間の場合の業務従事期間

年数	業務従事期間（最長9年間）								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ローテーション病院群	臨床研修		1・2・3群						
			3群の病院を最低1年※						
	9年間のうち、3群の病院を最低3年※								

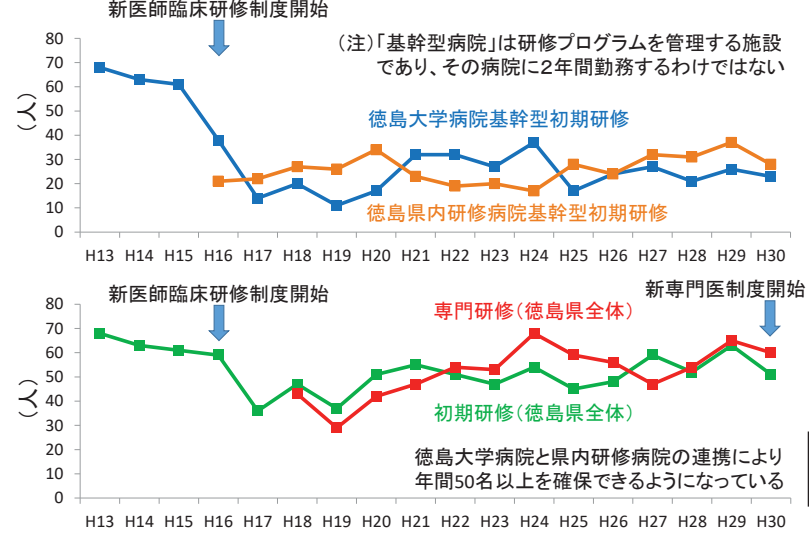
- 【徳島県内の公的医療機関等】
- 1群病院: 県立中央病院, 徳島市民病院, 徳島赤十字病院, 徳島県鳴門病院, 吉野川医療センター, 阿南中央病院, 阿南共栄病院, 阿波病院, 国立病院機構東徳島医療センター, 国立病院機構徳島病院, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター
 - 2群病院: 徳島大学病院
 - 3群病院: 県立海部病院, 県立三好病院, つるぎ町立半田病院, 三好市立三野病院, 勝浦町立勝浦病院, 那賀町立上那賀病院, 美波町立美波病院, 海陽町立海南病院
- ・業務を最長で3年間中断し、国内外での留学・研修等が可能
 - ・最低1年間の3群勤務を行い、一定の条件を満たした場合はさらに4年間の中断が可能

赤池 雅史先生より提供
(徳島県地域医療支援センター 副センター長)

徳島県地域特別枠医師数の年次推移の推定

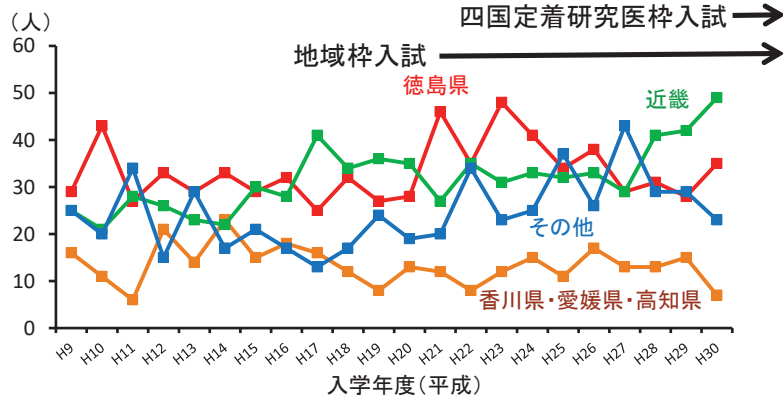


徳島県における初期・専門研修登録者数年次推移

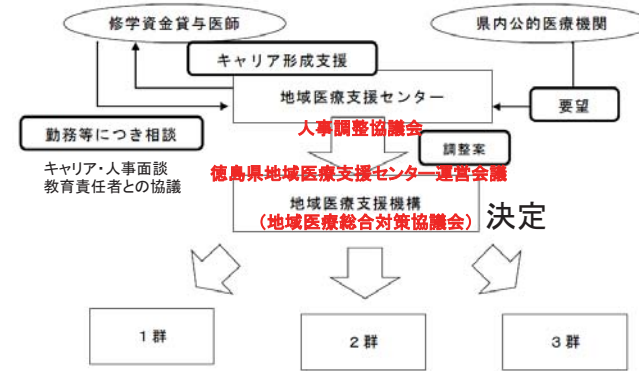


徳島大学医学科入学者出身地年次推移

徳島県出身の入学者数は、地域枠分“純増”していない
 徳島大学病院および徳島県内研修病院で初期・専門研修を開始する
 医師の約3割が地域枠医師(2割が地域特別枠)になる見込み
 その配置と医療ニーズのマッチングが不可欠



地域特別枠医師の勤務先の決定



- ・身分は勤務先の公的医療機関等に属する
- ・基本ローテーションを前提に3つの群をバランスよくローテーション(3群は3年間)
- ・初期研修先は通常のマッチングシステムで決定(徳島県内公的医療機関限定)
- ・卒後3年目以降は徳島大学病院科長・医学部教授が教育責任者となる
- ・基本領域専門医取得に配慮(研修期間が4年以上で3群が病院群にない場合等)
- ・県内における診療科偏在や地域医療ニーズも十分考慮

赤池 雅史先生より提供
 (徳島県地域医療支援センター 副センター長)

キャリア形成と地域ニーズに基づいた 医師の配置調整のための取り組み

地域枠学生・医師との面談

- 進路希望アンケート調査(医学科1~6年次)
- キャリア人事面談(医学科4~6年次、研修医1年目以降毎年)

地域医療関係者との協議・意見交換

- 地域枠医師のキャリア形成ワークショップ
- 地域枠学生キャリア支援協議会(初期研修協議)
- 人事調整協議会(地域枠医師の配置調整)
- センター運営会議(専門研修地域協議等)

講演会・講習会主催、開催・参加助成

- OGMラウンド、CVC挿入講習会、JMECC等

広報

- ホームページ開設 <http://www.t-cm.jp/>
- 広報誌「トクドク」

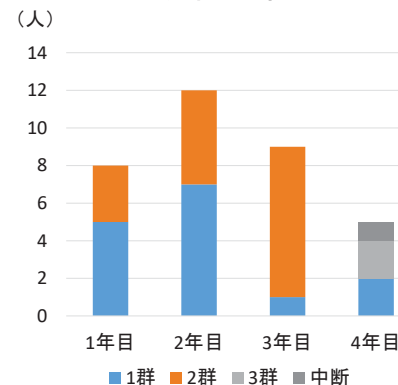


赤池 雅史先生より提供
 (徳島県地域医療支援センター 副センター長)

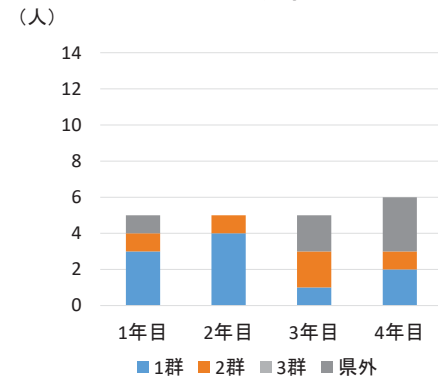
徳島県地域枠医師の勤務先

2018年度時点

地域特別枠



地域枠



赤池 雅史先生より提供
 (徳島県地域医療支援センター 副センター長)

地域(特別枠)医師の動向

赤池 雅史先生より提供
(徳島県地域医療支援センター 副センター長)

2015年 **放射線科 1名・消化器内科 1名・脳外科 1名・血液内科 1名**

・**総合内科(亀田総合病院) 1名**

呼吸器内科 1名・神経内科 1名・糖尿病 1名・旧二外科 1名(地域枠)

2016年 **消化器内科 1名・放射線科 2名・呼吸器内科 1名・総合診療科 1名**

・**救急科 1名・リハビリ 1名・泌尿器科 1名・循環器科 1名(特別枠)**

救急 1名・呼吸器膠原病内科 2名・循環器内科 1名・未定 1名

2017年 **循環器科 1名・呼吸器内科 1名・血液内科 1名・小児科 1名・精神科 1名**

整形外科 1名・脳神経外科 1名・放射線科 1名・麻酔科 1名・病理 1名

救急科 1名・サブスペ未定1名(特別枠)

5名(地域枠):?

2018年 **8名(特別枠)・5名(地域枠):病理1名?**

2019年 **10名(特別枠)**

12/2~12/27 ○○航生(△△ □□)先生 研修スケジュール(チューター 松崎Dr・井坂Dr)
新しい研修要綱を踏まえて、外来研修が多くなっています!

地域医療研修1か月

1週目	12/2月	12/3火	12/4水	12/5木	12/6金
午前	・幹部会で挨拶 ・院内オリエンテーション ・医局・電子カルテ使用法説明	・放射線科・健診業務実習	・ 多田クリニック診療所: (山間部の僻地診療所 研修)	・薬局:服薬指導 ・調剤研修	・婦人科・小児科研修 外来病棟(分娩室・新生児室)
午後	・内視鏡センター ・患者割り当て担当	・婦人科手術見学	・外科・泌尿器科手術研修	・ 町内見学	・小児科予防接種
夜間	歓迎会	・オンコールで救急体験	・ つるぎ町地域包括ケア 会議参加	・オンコールで救急体験 (当直Dr)	
2週目	12/9月	12/10火	12/11水	12/12木	12/13金
午前	・内視鏡センター ・腹部エコー検査 担当(中園Dr)	・8:30~腎センター(須藤Dr) ・10:00~放射線画像診断 (西谷Dr)	・外科総回診・外来・手術 研修(仁木Dr)	・エコー研修(検査科: 10:30~11:30)	・婦人科・小児科研修 外来(木村Dr・永井Dr) 病棟(分娩室・新生児室)(新居Dr・郷司Dr)
午後	・内視鏡センター (中園Dr)	・婦人科手術見学 (木村Dr・土肥Dr) ・医局会	・外科・泌尿器科手術研修	・婦人科手術見学 (木村Dr・土肥Dr)	・ クリスマス会
夜間	・オンコールで救急体験(当直Dr)	・放射線科症例検討会 ・カルテ監査委員会	・ 小児科医局とのTV会議 (17時30分~)	・オンコールで救急体験 (当直Dr)	
3週目	12/16月	12/17火	12/18水	12/19木	12/20金
午前	・内視鏡センター ・腹部エコー検査 担当(河野Dr)	・ 訪問看護見学(小泉) (総務 西村運転) 8時30分 訪問看護ステーション 集合	・外科総回診 ・外科外来研修 ・外科手術研修 (仁木Dr)	・健診 ・胃透視 (中矢Dr)	・婦人科・小児科研修 外来(木村Dr・永井Dr) 病棟(分娩室・新生児室)(新居Dr・郷司Dr)
午後	・糖尿病外来(松久Dr)	・ 訪問看護見学	・外科・泌尿器科手術研修	・腎センターカンファ飯原Dr(2:00~3:30)	・小児科予防接種
夜間	・ 18:00~アスリート倶楽部とのランニング	・オンコールで救急体験(当直Dr)		・オンコールで救急体験 (当直Dr)	

4週目	12/23月	12/24火	12/25水	12/26木	12/27金
午前	・内視鏡センター ・腹部エコー検査 担当(中園Dr)	・内科外来研修 (並川Dr)	・外科総回診 ・外科外来研修 ・外科手術研修 (仁木Dr)	・内科外来研修(河野Dr)	フリー(研修報告をまとめる時間にしてください。)
午後	・内視鏡センター (中園Dr)	・婦人科手術研修	・外科・泌尿器科手術研修	・リハビリテーション 研修(2:00~4:00)	・ 研修報告会(4時~)
夜間	・オンコールで救急体験 (当直Dr)			・オンコールで救急体験 (当直Dr)	・ 研修打ち上げの会

- 水曜日の夕方小児科TVカンファ(徳島大学小児科医局カンファレンスルームとつなぎTV会議)あり。
- 12/16のアスリート倶楽部は、ジョギングできる用意(スポーツウェア・シューズ等)が必要です。
- 必要物品: 白衣・聴診器・コンピューター・デジカメ・筆記用具・着替え・タオル等
- あと、病院アスリート倶楽部の練習に参加(ジョギングです)できるように動ける服とシューズが必要。
- 宿泊: 病院官舎(1DK): エアコン・TV・パイプベッド・布団・洗濯機・冷蔵庫・電気ポット・テーブル・座布団あり。車は、官舎の駐車場に止められます。初日は、病院駐車場に止めて、2F事務所にきて下さい。JRで来る場合も、半田の駅からは徒歩5分で病院に着きます。1F病院総合受付で聞けば、事務所に案内してくれます。
- 前日より官舎に宿泊することもできます。また、最終日も、研修打ち上げ会の後官舎に宿泊して翌日に帰ることもできるので、とりあえずは、いつどのようにして来られるかの希望を知らせてください。
- 院内PHSは、宿泊先の官舎でも受信できますので、オンコール体制時は、手元に置いておいてください。

当院での地域枠医師の受け入れ②

受け入れパターン

1. 学生実習での受け入れ
2. 初期臨床研修期間での地域医療研修での受け入れ
 - ① とにかく半田病院のある地域(つるぎ町)を知ってもらおう……町内観光ツアー、等
 - ② 病院のすべてのセクションを回って、楽しく研修をしてもらう……ミニ総合診療専門プログラム
3. 後期臨床研修中での受け入れ
 - ① 総合診療医的な役割も担ってもらおう
 - A) 放射線科専攻でも、健診や当直業務をしてもらう
 - B) 初期研修医の指導係を担当してもらう
 - C) 研修会を開催
 - ② イベントにも積極的に参加してもらう
 - A) 講演(市民講座・院内研究発表会等)
 - B) つるぎ町地域包括ケア会議
 - C) 国保地域医療学会(全国・徳島)

課題

- 指導医が不足し、高齢化。
- 病院の能力が低下し、医療機能が落ちて、若いDrに興味を持ってもらえなくなる。
- 周囲の過疎化・高齢化で住む場所としての魅力もがさらにしぼむ